

「フリーランス・副業・兼業の法律問題：

労働法・独禁法・社会保障法・租税法の視点から」

東京大学大学院法学政治学研究科・法学部では、2005年度以降、弁護士や企業法務担当者等を対象に連続講義を開催しています。第20回に当たる今回のテーマは、「フリーランス・副業・兼業の法律問題：労働法・独禁法・社会保障法・租税法の視点から」です。

働き方の多様化が進み、労働者と独立自営業者の境界が曖昧になり、両者の中間に位置するフリーランスや、副業・兼業に従事する者の法的位置づけが問題となっています。2020年には副業・兼業ガイドラインが大改定(22年再改定)され、いわゆる「フリーランス保護法」という新立法も日程に上っています。この連続講義では、労働法・独禁法・社会保障法・租税法の専門家がこれら諸法領域にまたがる問題について最新の状況を踏まえて検討します。

なお、今回の連続講義は対面とオンライン併用のハイブリッド型で行い、さらに、講義翌日より1週間、講義動画のアーカイブ配信も実施します。

○日時・講師 全4回/時間はいずれも18:30~20:30(同時配信)

<第1回> 2023年2月15日(水)

◆「フリーランス・副業・兼業と労働法」

荒木 尚志(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

<第2回> 2023年2月22日(水)

◆「フリーランス・副業・兼業と独禁法・下請法・フリーランス保護法」

白石 忠志(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

<第3回> 2023年3月1日(水)

◆「フリーランス・副業・兼業と社会保障法」

笠木 映里(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

<第4回> 2023年3月8日(水)

◆「フリーランス・副業・兼業と租税法」

神山 弘行(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

○開催方式 対面講義とオンライン併用のハイブリッド型

(さらに、講義を録画し、講義の翌日(17:00以降)から1週間、講義動画のアーカイブ配信も実施)

○場 所 東京大学法文1号館25番教室(東京都文京区本郷7-3-1)

(オンライン配信、アーカイブ配信の接続先は、お申し込みいただいた方にメールでご連絡します。)

○受講料 4万4000円(消費税込み)

○受講対象 弁護士、社会保険労務士、企業法務担当者、人事・労務管理関係者をはじめフリーランス・副業・兼業の法律問題に関心のある方を対象とした講義です。

○お申込先・お申込方法

受講を希望される方は、<https://www.shojihomu.or.jp/p021> にアクセスして必要事項をご登録ください。

東大法曹会会員の方は、東大法曹会(03-5841-2776・alumni@j.u-tokyo.ac.jp)宛にお申込みください。

○申込締切 2023年1月31日

○お問合せ先 03-6262-6722 電子メール：sh2013@shojihomu.or.jp

○主 催 東京大学大学院法学政治学研究科・法学部

○後 援 公益社団法人商事法務研究会、東大法曹会